

令和 5 事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団 事業計画

周南市ふるさと振興財団は、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的に設立された「ふるさと振興を使命とする財団」であり、令和 4 年 8 月に設立 30 周年を迎えました。

令和 4 年度、財団職員による不祥事（関係団体資金の私的流用）が発覚しました。信頼関係の構築を基盤に事業を行なっていく組織としてあってはならない不祥事を起こしたことを真摯に反省し、信頼回復に努めなくてはなりません。

そのためには業務体制の見直し、チェック機能の強化等の再発防止策に取り組んでいくとともに、令和 3 事業年度より実施している「ふるさとづくり推進プランⅣ」に基づく事業を着実に展開していくことが重要であると考えております。

令和 5 事業年度は「ふるさとづくり推進プランⅣ」の中間年にあたることから、プランの見直しも踏まえながら事業の推進と組織面の改善も含めた運営に取り組んでまいります。

また、市民活動支援センターが令和 5 年 4 月 1 日から財団事務所と同じ徳山港町庁舎に移転することを契機に、地縁型のコミュニティ活動とテーマ型の市民活動を一体的に支援する体制整備を進めます。

コロナ禍が収束していく状況の中で、地域活動・市民活動の再起動や新たな展開を支えることを目指し、初心に立ち戻って事業を推進してまいります。

周南市ふるさと振興財団のビジョン

地域の今とこれからのために、
みんなで手を取り合って
暮らすことができる“ふるさと周南”へ

周南市ふるさと振興財団のミッション

私たちは、
地域の未来に向けた活動を“支える”こと、
人と団体と地域を“つなぐ”こと、
ふるさと周南について“伝える”ことで、
みんなが育ち支えあう、
ふるさとづくり活動に取り組みます。

I 支える ～地域運営を行う組織の基盤づくり～

地域の未来に向けたコミュニティ活動／市民活動を充実していくには、地域運営を行う組織の基盤づくりが必要である。それを「支える」ための事業として、活動のコーディネートや人材育成、活動への助成を行う。

1. コミュニティ活動／市民活動のコーディネート事業

予算額 2,337,000 円

【事業目的】

31 地区を 4 ブロックに分け、ブロックごとに担当者を置く地域担当制で個別訪問を行い、地域の情報収集や相談対応、提案等で各地区のコミュニティ活動及び市民活動の充実を図っていく。

【事業内容】

- ◆ 個別相談・訪問調査
- ◆ 周南市コミュニティ推進連絡協議会の支援
- ◆ 地域資源を活用した活動への支援
- ◆ 地域カルテ・団体カルテの作成
- ◆ 地域の夢プラン策定・実行支援

◆ ふるさと応援隊の支援

- 公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援
 イ. 周南市コミュニティ推進連絡協議会に対する支援
 ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業
 (3) 地域資源を活用した活動の支援
 イ. 地場産品を活用したふるさとづくりの支援

2. 人材育成・団体力強化事業

予算額 1,195,000 円

【事業目的】

地域課題の発掘や、その解決に向けた活動を推進していく力を持った人材を育成するとともに、団体運営に必要となる基本的な知識・ノウハウを学び、活用できる人材を増やす。

【事業内容】

- ◆ 中長期的な人材育成講座の実施
- ◆ 個人や団体のスキルアップにつながる講座の開催
- ◆ 若者参画の推進・後継者育成支援
- ◆ 課題解決への取り組みに関する先進事例調査
- ◆ 寄付・ファンドレイジングに関する手法の普及
- ◆ ボランティアマネジメントに関する手法の普及

- 公益目的事業 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催

3. コミュニティ活動／市民活動への助成事業

予算額 3,393,000 円

【事業目的】

事業の規模に関わらず、課題解決に向けてプラン策定を行い、その事業を実施しようとしている団体に対し、プランの作成及び必要な資金を支援する。

【事業内容】

- ◆ 特色あるコミュニティ活動支援事業
- ◆ しゅうなん元気活動支援事業
- ◆ 伴走支援型助成プログラム
- ◆ その他助成制度による資金獲得の支援

- 公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 ア. 特色あるコミュニティ活動への助成
 (2) 市民活動（テーマ型）の支援 ア. 特色ある市民活動への助成

II つなぐ ～市民活動参加と協働への基盤づくり～

ふるさとづくり活動は、団体と団体、人と人が手を取り合って進めていくことが重要であり、それらを「つなぐ」ための事業として、各地域での取り組みをより効果的なものにするための基盤となる団体間のネットワークの強化や、さまざまな組織の協働の推進、活動参加への入り口としての寄付やボランティアの促進、子どもや青少年の健全育成の支援を行う。

1. ネットワーク形成・協働推進事業

予算額 4,284,000 円

【事業目的】

ふるさとづくり活動に取り組む団体間が信頼・協力関係を築き、単独の団体では困難な地域課題を解決していくための基盤となる、協働推進への取り組みを支援する。

【事業内容】

- ◆ 市民活動フェスタの開催
- ◆ 団体の座談会・交流会の開催
- ◆ 協働に関する環境・意識などの調査
- ◆ 協働に関する意識の啓発
- ◆ 市民活動支援センターの運営

公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援
ウ. コミュニティ推進組織の交流と相互支援を推進する事業
(2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催

2. 寄付とボランティアへの参加促進事業

予算額 433,000 円

【事業目的】

ふるさとづくりなど、社会貢献活動への代表的な参加方法である「寄付」と「ボランティア」への理解を広げ、地域への参加の輪を広げる。

【事業内容】

- ◆ 寄付・ボランティア活動参加の普及
- ◆ 寄付月間イベントの実施
- ◆ 基金活用検討協議会（仮）の設置・運営
- ◆ ボランティア支援に関する関係機関との連携

公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信
(2) 市民活動（テーマ型）の支援 イ. 市民活動に関する講座の開催

3. 自然体験を通じた子どもたちへの健全育成の支援事業

予算額 39,483,000 円

【事業目的】

自然や人とのふれあいを通して、これからのふるさとを担う子どもたちや青年の健全な育成を推進する。

【事業内容】

- ◆ 大田原自然の家の管理運営
- ◆ 自然や人とふれあえる体験活動の提供
- ◆ 活動を通じた青少年ボランティアの学びの場づくり

公益目的事業 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ウ. 大田原自然の家の運営

III 伝える ～ふるさとづくり情報を知る機会づくり～

ふるさとづくり活動への参加の輪を広げていくためには、より多くの人に「ふるさと」に関する幅広い情報に触れてもらうことにより、はじめの一步へと背中を押すことが重要である。ふるさと周南について「伝える」ための事業として、インターネットや紙媒体などを通じて情報発信を行う。

1. ふるさとづくりに関わる情報発信事業

予算額 454,000 円

【事業目的】

様々な媒体を活用し、市内のコミュニティ活動／市民活動や財団の事業に関する情報に加え、地域の魅力を伝える情報を発信することで、周南市におけるふるさとづくり活動の周知・PR等を図り、活動への参加につなげる。

【事業内容】

- ◆ Web 媒体による情報発信
- ◆ 紙媒体による情報発信
- ◆ 各種メディアを通じた情報発信
- ◆ ふるさとづくり情報の収集とアーカイブ化
- ◆ 助成金情報の収集と提供
- ◆ 運営施設や関係機関への掲示や設置による情報発信

公益目的事業 (1) コミュニティ活動（地縁型）の支援 エ. コミュニティ活動に関する情報の収集と発信
 (2) 市民活動活動（テーマ型）の支援 ウ. 市民活動に関する情報の収集と発信
 (3) 地域資源を活用した活動の支援 ア. ふるさとづくりに関する情報の提供